

(別記様式第15号)

令和3年度県民協働による里山整備・利活用事業進捗状況報告書

事業 主体名	霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクト 実務者(説明者)氏名：清水 理絵
-----------	---

No.	事業項目	事業名
8	森林を支える豊かな地域づくり	県民協働による里山整備・利活用事業
事業費 961.9 千円 (うち森林づくり県民税： 753.75 千円)		

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

霊泉寺温泉地域の森林は、大半がかつては薪や炭、キノコの原木に利用した里山林です。しかし、材木価格の低迷や化石エネルギーの利用拡大等により里山と人との絆が途切れ放置され手入れが遅れた山林となっています。また、霊泉寺温泉内の一部区域は平成29年と令和元年の台風では大きくなりすぎた広葉樹が台風の風にあおられ人家に倒れるなど、かつては生活に密接し貴重な資源であった里山が安心して暮らすための脅威となっています。

(2) 本事業の目的

日常生活の変化や森林所有者の後継者不足等により、森林管理の空洞化が深刻さを増していることから、地域住民が協働で里山の整備や森林資源の多面的利活用を進めることで、人と森林の関係を再構築し、自律的・持続的な森林管理体制を築くことが目的とされている。

当地区は、里山はアクティビティのフィールドと考えており、子供から大人まで楽しめる里山温泉地をコンセプトに、里山の整備や活用により、豊かな自然に育まれた観光地としての魅力向上を目指す。

事業内容

(1) 実施場所 霊泉寺温泉地区 森林広場

(2) 対象者 霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクト (地元有志団体)

(3) 実施方法 霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクトによる里山整備、森林広場づくり、イベントの開催

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和2年度～令和4年度)

森林広場の整備及び遊歩道の設置

遊休林の周辺を整備し、水辺や山林を観光客はじめ多くの人々に自然を楽しんでもらうため森林内に広場と遊歩道を設置

イベントを中心に里山の大切さ整備の必要性の普及啓発を図る

2020年度、2021年度はコロナウイルスの感染拡大防止の為中止とする

②令和3年度進捗状況

B 事業実施中



事業効果

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

自然豊かな里山温泉地としての魅力向上のため、草木で荒れて手入れのされていない荒廃地を広場（公園）として整備することにより将来的に里山でのアウトドアを通じて環境教育や里山のある暮らしを感じてもらえる地域として県内外に発信することができる。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

プロジェクトの構成員は少数で高齢化が進み従来の管理も困難になりつつある中で、乗用草刈り機、高枝プルーナを導入することにより今後継続的な整備、管理が可能になる。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

荒廃地でも、協働で広場（公園）を整備し、維持・管理していくことで、人が集うフィールドになることは、他地域の参考になるのではないか。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

(2) 課題

(3) 次年度以降の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直しの内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

事業の制度等に対する要望等

-
-
-
-